

(別紙)

令和5年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

9番議員 佐々木 昇

「将来を見据えたみちづくり」への考えは

みちづくりはまちづくりという言葉があるように道路整備はまちづくりにとって大きな意味を持つものと考えます。

本町は町全域が都市計画区域の指定を受けており、これまでも、道路整備をはじめ計画的にまちづくりを行ってきた。本町の都市計画道路として決定しているのは5路線であり、東西道路3路線は、現在、取組みが進められている駅前通り線とほぼ整備済みとなる2路線であり、残り2路線は南北道路となる。そのうちのひとつである山北開成小田原線は現在、計画の約半分が整備済みで、開成中央通りとも呼ばれている。主な未整備区間は県道712号松田停車場から北へ伸びる区間であり、この町の背骨ともいえる山北開成小田原線は早期整備が必要と考える。

また、時代の流れとともに道路空間の利活用に対するニーズも変化してきている。今後のまちづくりを見据えるうえで、地域のニーズに応じ、また、多様なニーズに応える道路空間の実現に向けた道路整備も必要と考え、今後の良好なみちづくりについて以下の点の町の見解を問う。

- ① 山北開成小田原線の整備への見解は。
- ② 山北開成小田原線の整備に向けた取組みは。
- ③ 人にやさしいみちづくりへの取組みは。